独立行政法人国立病院機構 指宿医療センター 広報誌

菜の花

NHO IBUSUKI MEDICAL CENTER

No.50
令和3年9月

山川製塩工場跡

池田湖からの開聞岳

開聞岳

枚聞神社

理念

患者さまにやさしく、
地域に信頼される
良質な医療の提供をめざします。

運営方針

1 がん診療の治療の向上をめざします。
2 成育医療の充実をめざします。
3 救急医療の充実をめざします。
4 地域医療機関との連携を図り、
説明と同意に基づいた安全で質の高い
医療をめざします。

当院のロゴマークは、指宿市が誇る「菜の花」をモチーフにしています。
たくさんの黄色い円は花の部分を表しており、菜の花は小さな花が集まって1つの花を形成しているというように、病院のスタッフ1人ひとりが集まって、病院という組織があるのだということを表現しています。
緑の弧は菜の花の葉と、病院（花の部分）には新しい風が常に舞い込み、また病院が地域に新しい風を送り出しているという「風」のイメージを示しています。

contents

P.2 “小規模病院で政策医療は持続可能か？”
P.3 人工宝石 Garnet 素材検出器搭載　米国 GE 社製
最新型 CT が当院にて稼働開始しました
P.4 報告レポート　新型コロナ重症病床対応の看護師派遣を経験して
P.7 「病院食に変化と楽しみを」
P.8 指宿 菜の花通信
外来診療担当医一覧

“小規模病院で政策医療は持続可能か？”

院　長
鹿島 克郎

いわゆる政策医療（周産期、小児、災害、感染症など）を維持するためには、病院経営面ではかなり苦しい現状があります。なぜなら、現在の診療報酬体系では十分な収益が得られない部門だからです。大規模病院においては、収益の高い部門が収益率の低いこの領域を十分補うことができますが、地方の小規模病院では必然的に赤字になります。

政策医療の中でも重症心身障害や神経・筋疾患など慢性疾患に対しては、利用病床を確保し収益を維持できますが、急性期疾患、救急疾患に対応する場合、病床稼動率を維持するためには、かなりの人的労力を要します。また、成育医療（周産期、小児）におけるコストパフォーマンスは低いため、小規模病院で磐石な経営基盤を築くことは至難の技です。

さて、我が指宿医療センターは、南薩医療圏（約７万人）において救急医療、成育医療、がん診療、循環器・消化器・泌尿器科疾患に対する急性期・慢性期医療と眼科領域を担っていますが、地域の最終的な入院施設としての役割があり、その意味で地域中核病院といえます。
新型コロナウイルス感染症パンデミックの現在、入院治療を行う重点医療機関は指宿地域では当院のみで、小規模ながら必死に地域医療を守っている状況です。

コロナ感染症収束後の病院経営について議論が始まりつつあります。
コロナ前から病床機能再評価の議論はあり、将来の人口減少を見据えて病院のダウンサイズや急性期病床を減らす計画が安易に提案されます。
病院も所謂企業体と考えれば収支バランスがその存続のためには重要ですが、今回、感染症パンデミックを経験したことにより、政策医療などのセーフティーネットを維持する重要性が再認識されたと思います。

当院がこの地域でどの領域をどこまで担当し、地域の他の医療機関とどの様に連携し、どの様な街づくりに貢献していくかを地域住民と考え、地域医療を県全体で見直す時期にきています。
地域の小規模病院では医師確保が容易でなく、都市圏への医師集中による地方の医師不足や大学病院からの医師派遣のあり方などの問題を解決するために、地域医療に携わる医師へのインセンティブも必要です。
公立・公的病院のみならず民間病院も含めた地域医療構想を地域住民や今後地域を支える若い世代も巻き込んで真剣に考える時期にきていると思います。
そして国や県が地域医療を維持するための具体的な方針を示すことが必要です。

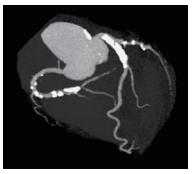
人工宝石Garnet素材検出器搭載　米国GE社製
最新型CTが当院にて稼働開始しました

放射線技師長　橋本 修

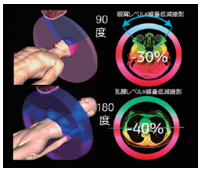
最新型 CT　Revolution　HD は、
従来の装置と比べ

□高速で撮影することにより、息止めの負担が軽減します。
□高心拍でも心臓 CT 検査が可能です。
□逐次近似技術を使用して大幅な被ばく低減を実現します。
□さらに水晶体、乳腺等への直接被ばくも低減します。
□インプラントをお持ちの患者様でも撮影可能です。
□ Dual　Energy により多くの画像診断情報を提供します。

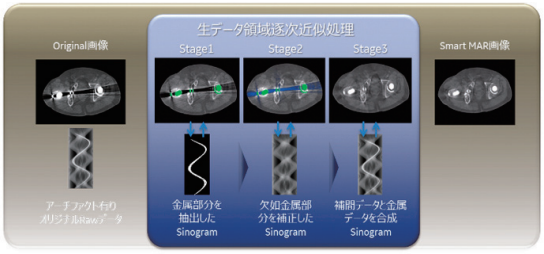
☆心臓を 5 秒以内で撮影可能



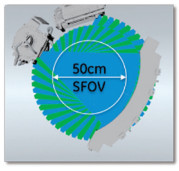
☆低被ばく検査を実現する逐次近似
画像ノイズ除去、高感受性臓器線量低減機能搭載

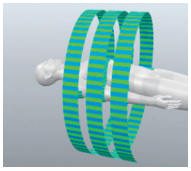


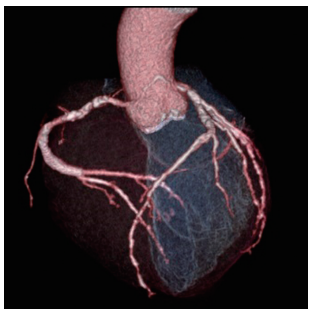
☆金属アーチファクト除去機能搭載



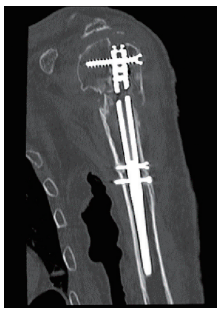
☆次世代技術 Dual　Energy 撮影

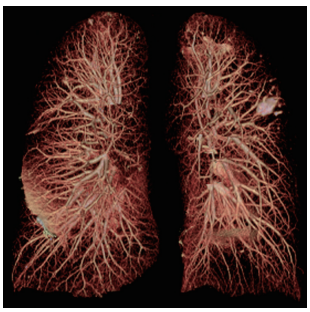





心臓 3D 画像

下肢血管狭窄
MIP 画像


肩　髄内釘
留置後画像


胸部病変 3D 画像

報告レポート

新型コロナ重症病床対応の看護師派遣を経験して

3病棟副看護師長　白澤 昂平

新型コロナ重症病床への派遣看護師として、6月7日～30日に沖縄県のA病院へ行ってきました。連日のように新型コロナのニュースが流れ、感染情報を得るのが日常生活の一部となって約1年半が経過しました。5月23日より沖縄県へ緊急事態宣言が発令され、6月2日に職場長より沖縄県への重症病床派遣依頼の連絡がありました。約1ヶ月間の派遣で、病棟や家庭、派遣への不安や緊張はありましたが、同時に新型コロナ重症医療を経験できることにワクワク感や楽しみもありました。

7年ぶりの沖縄は、飛行機内も空港内も閑散とした状況でした。派遣先の病院は、浦添市にある総合病院で、地域の救急医療を担っている中核病院です。新型コロナの初期より患者の受け入れを行っており、重点医療機関として、重症16床、中等症21床の病床を確保していました。派遣初日の午前中にオリエンテーションを受け、午後からは実際に患者を受け持ち、挿管患者の看護や医師の補助にあたりました。派遣当時はイギリス型変異株が増えており、患者は重症化や若年化している状況でした。また、自覚症状の乏しい患者も多く、安静への理解が得られず、体動後に呼吸困難になることがしばしばありました。

挿管後の患者は、筋弛緩や鎮静剤を使用し、深鎮静をかけ腹臥位療法を行っていました。人工呼吸器を装着し仰臥位の状態が続けば、重力の関係で水分や血液が背中側に溜まり、背側の肺胞が潰れてしまいます。それを改善するのが腹臥位療法で、日勤終了時に腹臥位をとり、朝方に仰臥位に戻していました。実際に腹臥位を行うだけで、血中酸素飽和度の上昇が認められ腹臥

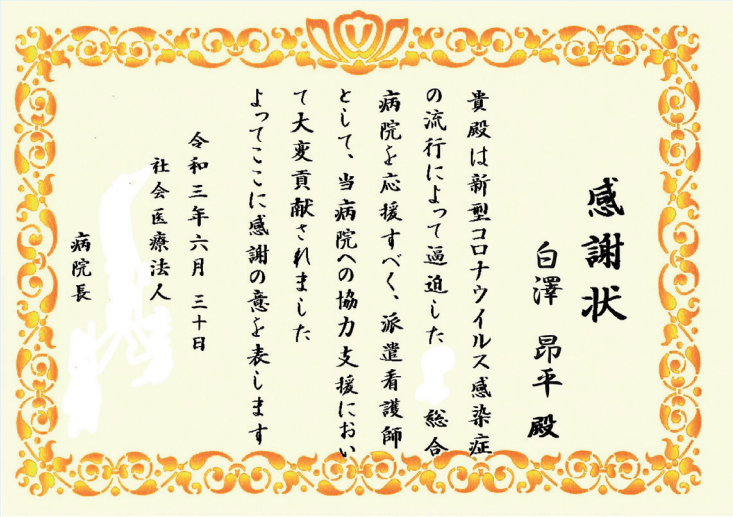
位の効果を実感できました。看護においては、約半日腹臥位で過ごすため、挿管や点滴等のチューブ類の確認や除圧による褥瘡予防に努めていました。また、ECMO 患者へ関わる機会もありました。ECMO は未経験でしたが、他のスタッフや ECMO ネットの看護師に教わりながら患者を看ることができました。ECMO は重症の新型コロナ治療の最終手段になります。有効な治療ですが、重篤な合併症も起こりやすいため、臨床工学技士と看護師が協力しながら 24 時間観察を行っていました。リハビリでは、挿管患者へ早期から介入を行っており、リハビリの有無が呼吸器の早期離脱や離脱後の ADL 拡大に大きく影響していたそうです。

主治医の許可があれば挿管患者の家族面会を行っていました。感染管理者の指導の下、家族はフル PPE を着用しての面会となります。面会により状態が良くなっていく患者もいれば、誕生日の歌を聴きながら亡くなった患者もいたそうです。

新型コロナ対応を始めた後に多数の職員が離職し、深刻な看護師不足となっていました。派遣中にも看護師増員の要請や待遇について不満が出ており、神経内科より応援に来た 2 年目看護師もいました。重症病床では主任やリーダースタッフが説明や教育を熱心に行っており、応援スタッフは重症医療をもっと学びたい、大変だが勉強になっている、コロナの手当が出るので頑張っている等、理由は様々ですが、個々の目標に向かって頑張っていました。また、我々派遣スタッフに対しても「来てくれてありがとうございます。」「助かります。」等多くの言葉をかけて頂き、逆に申し訳なくなるような心苦しい気持ちにもなりました。夜勤は 2 交替制で初めての経験でしたが、3 交替勤務とは違い、勤務前後に休みをとれるので、体調管理を行う上で良かったです。

今回、派遣という形でしたが、当院では経験できない医療や看護など貴重な体験を積むことができました。当院も新型コロナ

患者受け入れ後は、病棟編成や院内派遣体制等行ってきましたが、コミュニケーションエラーや理解不足により、スタッフからの不満もありました。私は、副看護師長として新型コロナによる状況変化を踏まえ、他部署を含めたスタッフサポートについて今後も考えていかなければならないと思いました。コロナ、ノンコロナ問わず患者を守るためには、多職種連携が大事だと改めて感じました。各職種・各部署との連携あっての病院運営であり、理解と思いやりが大切だと思います。現在第５波が来ている中、当院もいつ新型コロナ患者で逼迫してもおかしくない状況にあります。地域の中核病院として他の医療機関と協力し、新型コロナを乗り越えていきましょう。



感謝状

白澤 昂平 殿

貴殿は新型コロナウイルス感染症の流行によって逼迫した病院を応援すべく、派遣看護師として、当病院への協力支援において大変貢献されましたよってここに感謝の意を表します

令和三年六月 三十日

社会医療法人

病院長

「病院食に変化と楽しみを」

栄養管理室長　髙城 佳奈子

栄養管理室では、「安心・安全な食事の提供」を基本に、患者さんの病態に応じた精度管理された食事の提供を心がけています。

「病院食＝おいしくない、制限のある食事」というイメージがあるかもしれませんが、大変な入院生活の中で「食事＝楽しみ」となるように、栄養管理室全員で献立内容、調理法の検討を行っています。その中で、月に数回、行事食や各地の郷土料理の提供を行っています。入院中は四季を感じることが少なく、遠出も難しい状況ですが、病院食を通して季節感や変化のある食事を楽しんで頂ければと思います。

調理師より一言

患者さんが食事に飽きがこないように、野菜の切り方を変えたり、盛り付けを工夫したりしています。

委託調理師より一言

患者さんの早期回復を願いながら、スタッフ一同心を込めて調理しています。

指宿 菜の花通信 No.172

総合診療内科医師　中村一彦

田舎医者の流儀（147）・・・はがき

夕顔が真っ白の花を咲かせるようになった。手のひら大の花が夕方になると咲きだす。数が多いと結構きれいなものだ。バラの苗も植えたので、深紅、真っ白、ピンクの花が咲くのを楽しんでいる。油断するとアブラムシが花ビラを食い散らすので、虫取りも大事な作業になる。ずっと日照りが続いているので、水撒きも欠かせない。

今年はブルーベリーが不作であった。いろいろ調べてみると、ブルーベリーは乾燥に弱いそうだ。水をやり易いように、新たにホースを購入し、それを装着するために水道の蛇口を2連のやつに変えた。装置を整えると水撒きがストレスなしに出来るようになってきた。当然だがなんでもし易いようにシステムを変えることが大事なようだ。ブルーベリーは酸性の土壌を好むそうだ。根っこが酸性の土になるようにそれ用の土壌改善剤も買ってきて、土のPHを下げようと試みている。来年は春に花が咲き、いっぱい実が取れることを期待したい。

最近ハガキを書くようにした。受けとった方は、悪筆の中村が手書きのハガキをといぶかっておられるのではないかと思う。今まで、パソコンでつくった文章を手紙にして出すことが殆どであった。徒然草第35話に、「字の下手な人が、読み手に遠慮しないで、どしどし手紙を書くのは、大いにけっこうだ。逆に書く字がみっともないからと、他人に代筆させるのは、自意識過剰で、いやけがさす」とある。悪筆が恥ずかしく、パソコンに代筆させていた。

兼好さんが言うのはまっとうだと思い、隠居の身で暇もあるので、実行してみようと思った。それでもなかなか実行できないままであったが、片付けをしていたら、モンブランの上等の万年筆が出て来た。これをそのまま「寝たきり」にするのももったいないし、使ってみるかと思った。インクが枯れていたので、いくつかの店に買いに行ったが、なかなか売っていない。店員さんが言うには。そんなものは売れないので置いていないという。ネットで売っていそうなところを調べたら、私が時々使うバス停の近くにあるお店に売っていることがわかった。

はがきを手書きするときは、パソコンを開いて、漢字を確認しながらになる。今まで、パソコンの漢字変換に頼っていたので、いざ手書きするとなると漢字を思い出せない、なんとなく自信がないなど今までのパソコン頼りの弊害が出てくる。手書きを続けていたら、そのうち手が昔みたいに勝手に動いてくれることを期待している。

外来診療担当医一覧

令和３年９月１日現在

診療科等		月	火	水	木	金	備考
循環器内科	午前	鹿　島	吉　重	鹿　島 村　山	大　井 川　畑	鹿　島 吉　重	
総合診療内科	午前	大　井 花田（血液内科）	花　田	中　村（一）	花　田	中　村（一）	
消化器内科	午前	羽　田	（休　診）	宮　田 大重（肝内）	大　重	羽　田	
小児科	午前	中　野 荒　武	中　野 荒　武	関 荒　武	中　野 荒　武	関 荒　武	
	午後 外来	中　村（陽）	荒　武	中　村（陽）	荒　武	中　村（陽）	午前診療：８時30分～11時　午後診療：14時～16時 予防接種　（毎週月曜・火曜・木曜：要予約）受付 14時～14時30分 一ヶ月検診　（月・木）受付13時（要予約） 3～4・7～8・9～11ヶ月・1歳児健診（火曜）受付13時45分（要予約）
	午後 予防接種 健診	中　野	中　野		中　野		
外科	午前	（手術日）	宮　薗	宮　薗	（手術日）	（手術日）	金曜は予約患者のみの診察となります。
泌尿器科	午前	千代丸	（手術日）	千代丸	千代丸 （再診のみ）	千代丸	
腎臓内科	午前			大　塚		久　保	17番診察室にて診察します。　10：00～（要予約）
産婦人科	午前	森 萬　浮	古　謝 萬　浮	（手術日）	森 古　謝	古　謝 萬　浮	1ヶ月健診　（月・木曜日：要予約） 2週間健診　（月・火・木・金：要予約） 午後診療受付　（水・金曜日以外）13時30分～15時（再診のみ） 母乳外来　（毎週火・木曜日） 母親学級　（毎月第２・３水曜日）
	午後	森 萬　浮	古　謝 萬　浮 助産師 母乳外来	助産師 母親学級	森 古　謝 助産師 母乳外来	（手術日）	
眼科	午前	尾　辻 松　下	尾　辻 松　下	尾　辻 松　下	尾　辻 松　下	尾　辻 松　下	月曜・火曜・水曜は午後から手術のため受付は午前10時までとなります。 木曜・金曜の午後は特殊外来（視野検査、レーザー治療、造影検査、硝子体注射など）
	午後	（手術日）	（手術日）	（手術日）	（特殊外来）	（特殊外来）	
専門外来	午前	呼吸器内科	小児外科				呼吸器内科　毎週月曜日　予約制 呼吸器外科　毎月第１・３金曜日　（14時～17時）予約制 小児循環器　毎週月・水・木・金曜日（14時・15時・16時）要予約 小児外科　毎月第３火曜日　（9時45分～14時30分）要予約 もの忘れ外来　第２・第４水曜日（14時～16時）要予約
	午後	呼吸器内科 小児循環器	小児外科	もの忘れ外来 小児循環器	小児循環器	呼吸器外科 小児循環器	
内視鏡検査		宮　田	羽　田 宮　田	羽　田	羽　田 藤　井	赤　崎 宮　田	第１・３・５木曜日　羽田 第２・４　木曜日　藤井
緩和ケア外来		要　予　約					随時予約受付
整形外科	午前			織　田		織　田	水曜日・金曜日　9時～17時　受付：（織田先生）9時～11時・14時～15時30分 前迫先生：隔週（9月10日（金）、9月24日（金））受付：13時～15時30分
	午後			織　田		織田・前迫	

○受付時間　午前８時15分～午前11時00分
○診療時間　午前８時30分～午後17時15分
○休診日　土・日・祝祭日・年末年始　※急患の方は随時受付いたします。
○電話番号　０９９３-２２-２２３１

新型コロナウイルス感染症流行に伴い、入院患者様への面会を禁止とさせていただいております。

発　行：独立行政法人国立病院機構　指宿医療センター
〒891-0498 鹿児島県指宿市十二町4145番地
ＴＥＬ：0993-22-2231（代表）
ＦＡＸ：0993-22-2772（地域医療連携室）
ＵＲＬ：https://ibusuki.hosp.go.jp
印　刷：株式会社陽文社